

## パリ19区で男が歩行者を襲撃 7人負傷し内4人が重体

---



9日（日）、午後10時45分頃、パリの19区にあるウルク運河（canal de l'Ourcq）沿いの映画館MK2 quai de Loire前で、ナイフと鉄の棒を持った男が歩行者を次々と襲撃し、7人が負傷しました。そのうち4名が重体となっています。犯人の男はその場で逮捕されました。（写真はウルク運河。運河の左奥が現場となった映画館MK2 quai de Loire）

### 事件概要

---

9日、午後10時45分頃、ナイフと鉄の棒を持ったアフガニスタン人とみられる男（一部報道ではパキスタン人とも）が、パリ北東部、19区のウルク運河沿いの映画館MK2 quai de

Loireの近くで、通行人の男性2名と女性1名を刃渡り40cmのナイフで刺しました。

現場は映画館やカフェ、レストランなどが立ち並ぶ、若者たちに人気のスポットで、運河沿いではフランス発祥のペタンク（金属の球を使うゲーム）を楽しむ人が多く、事件当時、近くでペタンクをしていた若者たちがペタンクのボールを犯人へ投げて襲撃を止めさせようとした。

ボールが命中した犯人はその場から逃走し、現場すぐ近くのアンリ・ノゲール通り（rue Henri Noguères）でイギリス人観光客2名を襲撃したとのこと。

犯人は警察の反撃隊（La BAC / la Brigade anti-criminalité）によって逮捕され、警察は殺人未遂容疑で捜査を開始しました。この事件で、7名が負傷し、4名が重体となっています。

## テロの可能性は

---

当局は、「現時点では、テロの可能性を示す要素はない」として、テロの可能性を否定しています。また、イギリス外務省は、「我々はフランス当局と緊密に連絡をとっていて、この事件を緊急で捜査している」と述べました。

犯人の男は30歳くらいで、アフガニスタンの身分証明書を所持していたということです。これまでに犯罪を起こした記録もなく、警察でも要注意人物リストには入っていません。

## 在フランス日本大使館も注意を呼びかけ

---

在フランス日本大使館も、在留邦人に対し、犯人は逮捕されているが現場付近には近づかないようメールを配信し、注意を呼び掛けています。

今回の事件はテロの可能性は低いとされていますが、便乗したテロ行為などが起こる危険性も考えられることから、フランスに滞在中、渡仏予定のある方は、最新のニュースを常に入手し、身の安全の確保を心掛けてください。

外務省の海外安全情報配信サービス「たびレジ」はこちら

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校

# ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

